

**近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録**

第181回

令和5年10月19日

日 時 令和5年10月19日(木) 16時00分から

場 所 近畿運輸局 会議室(船員部会室)

出席者 公益委員 横見部会長、定岡部会長代理、三輪委員、安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、坂上委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員

運 輸 局 大谷海事振興部長、村上海事振興部次長、
土本船員労政課長、岡田船員労政課専門官、
竹内船員労働環境・海技資格課長

議題1. 管内の雇用等の状況について

議題2. その他

議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第181回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第180回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思っております。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

それでは、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

土本船員労政課長：

それでは「令和5年9月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、70人（前月比－14人、16.7%の減、前年同月比：＋41人、141.4%の増）となっています。

月間有効求人数は、241人（前月比＋22人、10.0%の増、前年同月比：＋34人、16.4%の増）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、10人（前月比－8人、44.4%の減、前年同月比：＋3人、42.9%の増）となっています。

月間有効求職者数は、29人（前月比－7人、19.4%の減、前年同月比－1人、3.3%の減）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、9人（前月比：±0人、（±0%）、前年同月比：+8人、800%の増）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員6人、機関部職員1人、甲板部部員1人、機関部部員1人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代1人、30歳代0人、40歳代2人、50歳代3人、60歳代3人、70歳代0人となっています。

2. 新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員49人（甲板部28人、機関部21人、無線部0人、事務部0人）、部員21人（甲板部19人、機関部0人、無線部0人、事務部2人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員6人（甲板部4人、機関部2人、無線部0人、事務部0人）、部員4人（甲板部2人、機関部1人、無線部0人、事務部1人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が2人、定年退職0人、雇用期間満了1人、本人の申し出2人、自己の健康0人、倒産0人、就労中3人、不明2人となっています。

③新規求職者の年齢別

30歳未満1人、30歳代3人、40歳代3人、50歳代1人、60歳以上2人となっています。50歳以上は3人で占める割合は30.0%、30歳未満は1人で占める割合は10.0%です。

3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は15人で、基本手当の給付実人数は4人、給付件数は4件となっています。給付金額は799,720円です。前月は4人、7件の1,049,612円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件0円、再就職手当が0件0円、就業促進定着手当が0件0円よって、当月支給額計は、799,720円となります。

4. 月間有効求人倍率の推移

9月の近畿船員は8.31倍で、前月比+2.23ポイント、前年同月比、+1.41ポイントとなっています。

5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は241人で、このうち、新規求人者数は70人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は5人、他局成立は1名でございました。求人の取り消しは119人で、理由の内訳は有効期限切れ119人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ0人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は29人で、前月との差は-7人でした。

当局の紹介による求職側の成立は4人、他局成立は1人でした。求職の取り消しは7人で、理由の内訳は期限切れ5人、自己応募・縁故により採用2人、自己都合により取り下げ0人、その他0人となっています。

6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①8月の全国の月間有効求人数は、3,187人で、前月比101.7%、前年同月比は105.3%となり、160人増加しています。

② 8月の全国の月間有効求職数は、761人で、前月比98.7%、前年同月比89.8%となり、86人減少しています。

③ 8月の全国の成立数は、54人で、前月比76.1%、前年同月比では80.6%となり、13人減少しています。

④ 8月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.10倍となっています。8月の全国陸上は季節調整値により1.29倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ご説明ありがとうございます。

資料1、2、3について何かご質問等ございますでしょうか。

安達委員：

資料1の雇用情勢の推移のグラフについて質問なんですけれども、月ごとや季節ごとに傾向があるのかというのを知りたくて、特に成立数のところで見ますと、10とか9という大きい数もあれば、3とか1とかという少ないときもあって、月ごとで成立数の増減というのが、過去の1年前、2年前とかコロナ前と比較してどうかとか、そのあたりの情報がもしあれば、さらにこの推移のことがよく分かるのかなと思って、お聞きしたいのですが。

村上海事振興部次長：

成立数の傾向ですね。

安達委員：

はい。結局マッチングがうまくいっているかどうかとか、季節ごとでマッチしやすい、しにくいとか、なにか要因があるのかなと思って。多分それ以外の要因もかなりあると思うんですけど、実際、去年の9月でしたら1件しか成立してないとか、その月ごとの何か要因ってあるのかなというのが気になりました。

村上海事振興部次長：

今すぐお答えできるものは持ってありませんが、担当者にも確認しまして、もしお答えできるようなことがありましたら、またこの部会でお話させていただきたいと思います。

岡田船員労政課専門官：

成立の傾向についてですが、やはり3月・4月は退職と就職の時期ということもあり、求職・求人件数が増えますので、成立数も少し増えるのかなというのは例年あるかと思います。

開委員：

この成立数というのは、運輸局で受理した求人と求職者の成立だけが計上されるのでしょうか。運輸局に求人を提出していない船社への就職も成立件数に入るのでしょうか。

岡田船員労政課専門官：

運輸局で受理した求人と求職者の成立だけを計上しています。運輸局の紹介ではない船社に知人等の紹介で就職された場合は、成立として計上しておりません。

坂上委員：

海のハローワークネットの関連ですけれども、求人情報に記載されている海技免状の上限という項目がありますが、それはどういうことなのかなというのが1点と、あと船員経験者にとっては情報もたくさんあって分かりやすいと思ったんですけれども、検索の項目で、船員の経験なしを選択して、一般の未経験者が船員になれるようになっておりますが、一般の人にはちょっと分かりにくいと思いますので、仕事風景とか船内の生活環境が伝わるような写真が掲載されていたらいいんじゃないかなと思いました。また、今の若者はインターネットやSNSで情報を得ることが多いので、船員未経験者だ

けに限らず、会社紹介をするSNSのアカウントやPR動画、ホームページのURL等が掲載されていれば分かりやすく、よりマッチングしやすいんじゃないかなと思いました。よろしくお願いします。

岡田船員労政課専門官：

海技免状の上限につきましては求人者が設定しないこともできます。上級資格の方を探していない場合は、求人者が例えば上限を3級までと決めることもできるようになっています。

村上海事振興部次長：

海のハローワークネットはまだまだ導入したところですので、すぐに改修とはいかないかもしれませんが、ご意見ありがとうございます。

三輪委員：

海のハローワークネットの話は、近畿管轄だけのアプリなんですか。

村上海事振興部次長：

全国で運用しています。

三輪委員：

そのシステムのバージョンアップとして、要望を反映させるようなことは随時されているのでしょうか。

村上海事振興部次長：

今年の3月から運用を開始したばかりですのでまだ改修のお話はありませんが、全国的な会議が年に一度ありまして、海のハローワークネットの使い勝手の問題や、こういうご意見がありますというのは話題に上がると思います。

三輪委員：

その改修に向けて、意見や情報の取りまとめというのは何月頃にされるのでしょうか。

村上海事振興部次長：

省内で大きく意見募集をしているわけではありませんが、地方からの意見を上げることができる機会があるということです。

三輪委員：

分かりました。

横見部会長：

ほかいかがでしょうか。

安達委員：

海のハローワークネットを今見てたんですけど、自分で条件を入力して、リストアップされた求人情報を1件ずつ見ていく仕様になっていて、シンプルなんですけどマッチングという観点からすると、多分マッチングしにくいのではないかと感じました。というのは、よくマッチングアプリってあると思いますが、そこでは、例えばマッチ度何%という感じで、各個人の属性と一番マッチしやすそうな順に並べていくとか、情報を提供する側がしてあげないと、結局その情報をうまく見つけられないということがこのシステムではあるのかなと思います。例えば、今、年齢だけを入れて検索してみますと結果が50ページ以上あります。そこまでページを更新して全部見る人ってなかなかいないと思うんです。

定岡委員：

おすすめ度ではなくランダムに表示されているのですか。

安達委員：

多分そうですね。例えば40歳と入力したら、検索結果が31ページ出てきました。より良い情報提供を進めていくという観点からすると、本当に40歳の人にマッチする条件というのが多分あると思うので、それを優先度の高い順から表示するとか、そういう仕様にしていかないとマッチングを進めていけないのかなと思いました。

大谷海事振興部長：

このシステムが今後どのように進歩していくのか分からないですけど、とりあえず今まで窓口でやってきたことをオンライン化したものでして、求職者がこんな資格を持っていてこんな船種で働きたい、求人者は何歳ぐらいで何級の資格をお持ちの方を探しているというようなイメージです。それで、自分の条件ならこれだけ会社があるから紹介してください、というのが現状の運用だと思います。あとは、求職者が自分でホームページを調べたり、電話で問い合わせたり、システム上でその会社のいろいろなことを紹介できたらいいんですけども、今のシステムの中でそこまで持っていくのはまだまだ時間がかかると思います。国がどこまで高度なシステムを作れるのか分からないですが、こういう意見がありますとか、船員部会で若い委員さんからこういう意見が出ていますというのは、会議の場で伝えたいと思います。

安達委員：

例えばさきほどのマッチ度となりますと、かなり高い技術が必要なんですけど、少なくとも条件で並べ替えることができれば、それだけでもかなり違うと思います。というのは、例えば海技免状の資格順に並べたり、あるいは希望賃金の順で並べたりとか、重視するポイントが個々に違いますので、31ページある中でも、一番上に自分の関心度の高いものがあればできればかなり良くなると思います。

村上海事振興部次長：

求職者の方が窓口で使用する端末では、検索条件を追加したりしてある程度の抽出はできます。検索結果が多すぎる時は条件を絞ったり、少ない時

は逆に広げたりして再検索することができます。ただ、並べ替えて表示することは現在のところできません。海のハローワークネットでも同様かと思います。

浦委員：

別に技術的に難しいわけでもないし。

安達委員：

それはすごくやりやすいと思うので、そういうユーザーに優しいページだと良いですね。

開委員：

今、31 ページとか表示される、その順番はどういう順番で表示されるのですか。登録順ですか。

岡田船員労政課専門官：

登録された日付順だと思います。

横見部会長：

システム上、いろいろ改善の余地があったとしても、まずは運用のベースに乗せることが大事だと思うので、そういう意味ではいち早く運用しているというところが現状なんだと思うんですけども、いろんな委員さんから貴重なご意見をいただいたと思いますので、また機会があればよろしくご検討いただきたいと思います。

横見部会長：

その他いかがでしょうか。無いようですので、それでは、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

村上海事振興部次長：

資料 4 を説明申し上げます。

まず、令和 5 年 8 月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比 91% となっております。台風 6 号、7 号の影響で上旬から中旬まで避難等輸送障害が断続的に見られたため、記録的な低水準の輸送量になりました。

貨物船は紙・パルプ、自動車が増加した。一方で、鉄鋼、原料、燃料、雑貨、セメントの 5 品目で減少したため 4 月以来 4 ヶ月ぶりに前年同月比を割り込みました。

油送船は 2022 年 10 月以来、全ての品目で減少となり、12 ヶ月連続減少となりました。

(貨物船の概要)

8 月の貨物船の輸送量は、前年同月比 90%、前月比 85% となっております。

鉄鋼は、前年同月比で 80%。台風による輸送障害が長期間に亘って見られたため、翌月に繰り越す貨物が見られたが、需要自体が低水準に推移しているため大きな混乱は見られなかったそうです。

原料は前年同月比 82%。セメントや鉄鋼等の需要の低迷が長引いているようです。

燃料は前年同月比 99%。石炭については、記録的な猛暑により石炭火力発電所向け需要の増加が見られましたが、一部で定期検査の石炭火力発電所もあり前年並みになったようです。コークスについては前月までは好調に推移していたが、今月は低調になり、燃料全体としては微減となりました。

紙・パルプは前年同月比 105%。木材は一部で木質ペレット（バイオマス発電所向け）の需要が好調となっている反面、紙製品は減産により減少傾向にあるようです。

雑貨は前年同月比 88%。記録的な猛暑から一般雑貨については飲料の出荷が見られたが、消費財の値上げによる販売不振もあり減少傾向が続いているようです。コンテナについても、台風の影響が大きかったようです。

自動車は前年同月比112%。供給制約の解消が見られ、生産の回復から大幅な増加が継続しています。台風6号の影響でメーカー工場の稼働が一部停止となったが、輸送に関しては特段の影響は無かったようです。

油送船の概要

8月の油送船輸送量は前年同月比92%、前月比で95%となっています。

黒油は前年同月比82%、記録的な猛暑により石油火力発電所向けの需要も期待されましたが、重油の在庫が多く輸送は低調に推移しました。また、再生エネルギーの稼働や原子力発電所の再稼働もあり減少傾向にあります。

白油は、前年同月比99%、夏季休暇や帰省等でガソリンやジェット燃料の需要は高く推移している一方、製油所の定期修理やトラブルの影響が減少の要因のようです。

ケミカルは前年同月比83%、中国需要の低迷や製品価格の上昇が顕著で需要低迷が続いているようです。

それでは3ページ以降、貨物ごとの状況です。8月の欄と対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、	前年同月比で	80.3%	、	前月比では	84.9%
原料は、	前年同月比で	82.1%	、	前月比では	88.4%
燃料は、	前年同月比で	98.6%	、	前月比では	86.7%
紙・パルプは、	前年同月比で	105.3%	、	前月比では	115.0%
雑貨は、	前年同月比で	88.0%	、	前月比では	90.1%
自動車は、	前年同月比で	112.3%	、	前月比では	77.3%
セメントは、	前年同月比で	82.6%	、	前月比では	82.9%

貨物船全体の輸送量は、1,481万1千トンで
前年同月比で 89.6%、前月比では 84.5%となっています。

黒油（こくゆ）は、	前年同月比で	82.0%	、	前月比では	90.9%
白油（はくゆ）は、	前年同月比で	98.6%	、	前月比では	97.5%
ケミカルは、	前年同月比で	82.8%	、	前月比では	90.0%

一般タンカーの輸送量は、746万3千トンで
前年同月比で 92.2%、前月比では 95.0%となっています。

続きまして、

高压液化は、前年同月比で 92.7%、前月比では 102.0%

高温液体は、前年同月比で 75.5%、前月比では 73.3%

耐腐食は、前年同月比で 89.2%、前月比では 88.5%

特タン船の輸送量は、90万1千トンで

前年同月比で 89.6%、前月比では 93.2%となっており、

全てのタンカーの合計は、836万4千トンで

前年同月比で 91.9%、前月比では 94.8%となっています。

次に資料5、長距離フェリーの令和5年8月の輸送実績でございます。

8月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずトラックですが、

北海道は、14,021台で、前月比108.4%、前年同月比で90.7%

北九州は、29,253台で、前月比 88.2%、前年同月比で93.6%

中九州は、9,200台で、前月比 90.0%、前年同月比で108.0%

南九州は、9,173台で、前月比 86.9%、前年同月比で95.0%

となっています。

次のページ、旅客でございます。

北海道は、26,262人で、前月比105.0%、前年同月比で112.1%

北九州は、96,805人で、前月比133.2%、前年同月比で116.6%

中九州は、37,997人で、前月比134.3%、前年同月比で143.1%

南九州は、27,226人で、前月比123.5%、前年同月比で101.9%

となっています。

次のページ、乗用車でございます。

北海道は、8,178台で、前月比 106.5%、前年同月比で116.1%
北九州は、30,332台で、前月比133.6%、前年同月比で109.0%
中九州は、7,317台で、前月比 170.3%、前年同月比で136.5%
南九州は、8,193台で、前月比 120.8%、前年同月比で 97.8%
となっています。

8月分の実績について、台風による欠航が多く大きな影響を受けました。
南九州便の大阪～志布志航路では、迷走した台風6号の影響により7月
31日～8月9日間で欠航しました。途中台風が遠ざかったので、8月3日、
4日と5日の上り便だけ運航しており、計8日間欠航したことになります。
北九州便は台風6号の影響では1日だけ欠航となりましたが、貨物のみの積
載に限る等の条件付き運航をしております。また、台風7号はお盆の時期
に近畿地方を通過しましたので、各航路1～2日程度欠航となりました。

トラックの実績は台風の影響により全体としては、2年6ヶ月ぶりに前年
同月比割れとなっています。

旅客、乗用車は、台風の影響にも関わらず、各航路で前月比、前年同月比
で上まわっており、改めてコロナ禍からの回復が鮮明になってきているとこ
ろです。

説明は以上になります。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料4、5について何かご質問等ございますでしょうか。

土屋委員：

弊社の8月の輸送量は大きく減少したのですが、9月は逆に持ち直し、台
風の影響もあまり受けなかったということで、非常に良い数字が出ています。
正確な数字ではないですが、前月比では2割ぐらい良くなっているかなとい
う感じです。この表でいいますと、原料、雑貨、セメント、特殊タンク船が

弊社では多いのですけれども、8月は天候の影響を強く受けましたので、このような数値になっているところかと思います。全体的には忙しくなっても、実は輸送量そのものが回復していないので、船が足りなくて困るというほどにはなっていません。比較的落ち着く秋口を迎えて、これから年末の繁忙期に向けてどれだけ持ち直すかというのがオペレーターとして気になるところです。

働き方改革などもあって、船の稼働率は全般的に落ちていると思いますし、船員さん不足で一部の船が止まっているということもありますので、輸送量も減っているものの輸送能力が落ちている状況かと思います。

海運会社の運航形態としては、特に労働条件の悪いところで専用船が増えていまして、小型タンカー船とか（油タンカーも同様だと思いますが）雑貨船でも199G/Tとかで専用船化がだいぶ浸透してきたということで、稼働率が落ちても収益には極端な影響は少ないです。一方、これは船員さんからすると決まった航路での航海で精神的に比較的楽になっていまして、条件の悪いところが専用船化されることは海運業界全体としては良いことなのかなということで、弊社の営業としてはそこに今力を入れているというところかと思っております。

横見部会長：

ありがとうございました。

他によろしいでしょうか。

それでは次に、事務局より報告事項がありますのでよろしくお願いします。

・最低賃金専門部会臨時委員の任免について

〔 土本船員労政課長（説明） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

佐藤委員：

平成21年の海事局の通達では、「最低賃金専門部会に属する委員等は船員部会に所属する委員等から船員部会長により指名されることとなる」とされており、この船員部会の労働者委員である全日本海員組合の私も、漁業最低賃金専門部会の委員として指名いただくことが可能ではないかと思うのですが、いかがですか。

大谷海事振興部次長：

次の行に「当該専門部会の労働者委員は、関係船員を代表する者」とされているので、それに当てはまるかどうか。

浦委員：

ちなみに今年は京都府内の同じ漁協から労働者代表は2人出ている。同じところから2人出す、その意味は。同じところから2人出すなら、船員代表が1人と船員部会の労働者委員の代表が1人でそれで構わないんじゃないかな。同じところから2人出す意味ってあまりない。その中で意見が食い違うことはないと思うし。

村上海事振興部次長：

運営規則があってその解釈のための通達があって、それをどう運用するかという中で、今までは、旅客船や貨物船には組織船もあって組合員の方がおられますので、私どもも労働組合さんに選出いただけませんかという形で運用しておりました。一方、漁船は未組織でしたので、船員さんの中から全員の代表を2人選出してくださいという形で運用してきたというのが現状です。

浦委員：

京都は、労働者委員が3人だった当時、単位組合は入っていたのですか。

村上海事振興部次長：

把握していませんが、オブザーバーとして参加されたときの経緯を知る限りは、過去に労働組合は入っておられないんじゃないですかね。

浦委員：

そうですか。京都は、技能実習生もいないですか。

佐藤委員：

技能実習生はいないです。

大谷海事振興部長：

沖合底引き網漁業に従事する船員は、現在、全日本海員組合に加入していないので、同漁業に従事する船員の中から代表者が推薦されていますが、例えば、同漁業に従事する船員の総意として、最低賃金専門部会の労働者委員としての推薦があれば、任命について検討することになります。

浦委員：

既に選ばれた船員を退かせて組合の人を入れろと言っているわけじゃなくて、例えば彼らだって、使用者と従業員です。社長に向かって、賃金上げろなんてなかなか面と向かって言えない状況があるわけで、それを我々がワンクッション入れるわけですよ。海員組合さんが入れてくれって言っているんだけど、どうですかぐらい聞いていただいたらいいです。

大谷海事振興部長：

船員部会において、労働者委員からそのような意見があったとして、伝えることは可能だと思います。

浦委員：

ぜひやってくださいよ。だけど、その時に使用者を入れたら駄目ですよ。使用者は嫌だって言うに決まっているから。関係船員で、船員ってくくれば船員代表なんですよ。組織、未組織関係なく。

大谷海事振興部長：

仮に、沖合底引き網漁業に従事する船員が、全日本海員組合が最低賃金専門部会の委員になって頂きたいと思っただとしても、使用者委員に対して、その経緯等を説明する必要はあると思います。

浦委員：

だから使用者は関係ないから。

大谷海事振興部長：

最低賃金専門部会を円滑に運営するうえでも、さきに申しあげたとおり、事前の説明は、必要だと思います。

浦委員：

使用者がぐずぐず言う話じゃないから。使用者については、あくまでも漁連に推薦依頼を出すだけでしょ。

村上海事振興部次長：

船員さんだけに言っても、たぶん使用者には伝わってしまいます。やはり、全日海さんのお考えを船員さんにお話しさせてくださいと、使用者にもきちんと言わなければならないと思います。

浦委員：

労働者委員と使用者委員の選任は全く別じゃないですか、依頼を出すところは。なぜそこで使用者に気を遣う必要があるかなと思うんですけどね。我々だって、例えば内航でも旅客船でも、使用者側の委員が代わったから駄目だよなんて一度も言ったことないです。

大谷海事振興部長：

さきに申しあげたとおり、沖合底引き網漁業に従事する船員については、同漁業に従事する船員の中から代表者が推薦されている状況で、事務局としては、推薦方法に特に問題はないと考えていますが、船員部会で労働者委員から意見があったことは、伝えさせて頂きたいと思います。

浦委員：

とにかく、一回ちょっと彼らに話をしてみてください。

大谷海事振興部長：

船員部会で労働者委員から意見があったことは、伝えさせて頂きたいと思います。

横見部会長：

他によろしいでしょうか。

それでは事務局よりもう1件報告事項がありますのでよろしくお願い致します。

- ・令和5年度 船員労働安全衛生月間の取組結果について
〔 竹内船員労働環境・海技資格課長（説明） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

よろしいでしょうか。

それでは続きまして、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見情報等ございましたらご発言をいただきたいと思います。

労働者委員の方からいかがでしょう。

横見部会長：

それでは、使用者委員の方からいかがでしょうか。

横見部会長：

そのほか、公益委員の方からいかがでしょうか。

特によろしいでしょうか。

横見部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は11月22日（水）16時30分からとなっておりますので、皆様
よろしく願いいたします。

（配付資料）

資料1．令和5年9月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和5年9月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和5年8月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和5年8月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和5年8月まで）

資料6．最低賃金専門部会臨時委員の任免について

資料7．令和5年度 船員労働安全衛生月間の取組結果について